

台東区長期総合計画 パブリックコメント実施結果

意見受付期間	平成30年12月14日 ～ 平成31年1月4日
意見受付場所	区公式ホームページ上での受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、企画課窓口で中間のまとめ閲覧・意見受付。
意見受付件数	7人、16件
提出方法の内訳	郵送0人（0件） ファクシミリ0人（0件） ホームページ5人（8件） 持参2人（8件）

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
第1章	1	計画を読ませていただきましたが、具体的にどのような事業を、いつまでに、どれくらいの規模で実施するのか明記されていません。もっと具体的な記載をすると、区民に明確に伝わると思います。	<p>長期総合計画は、今後10年間の区政運営の長期的指針となるものです。そのため、各施策の主な取り組みには、具体的な事業や事業量は記載していません。各施策に基づく、具体的な事業や事業量は、今後策定を進める行政計画の中でお示ししてまいります。</p> <p>(第1章 7 計画の構成)</p>
第2章	2	区の待機児童数は23区でも多くなっています。区はもっと真剣に保育所の整備に取り組むべきです。	<p>区では、認可保育所の整備や定期利用保育の実施など様々な保育サービスの充実に取り組んできましたが、現在まで待機児童の解消に至っていません。今回の計画案においても、待機児童の解消に向けて保育施設の整備に取り組んでいくことを明記しており、引き続き、待機児童の早期解消に向けて取り組んでまいります。</p> <p>(施策2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開)</p>

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
第2章	3	2018年は、児童虐待の件数が過去最大だったと報道されていました。児童相談所の設置については、港区の例が大きく取り上げられています。児童虐待についても、しっかりと取り組んでいてもらいたいです。	<p>児童虐待を防止することは重要であり、これまでも、子ども家庭支援センターを中心に対策を進めてきました。</p> <p>今後も、専門相談員の人材育成などによる子ども家庭支援センターの機能充実や、要保護児童支援ネットワーク関係機関との連携強化、児童相談所の設置検討などを通して、児童虐待の防止に取り組んでまいります。</p> <p>(施策3 配慮を要する子供・若者や家庭への支援)</p>
	4	四大卒までの就学率を高めるような施策を望みます。区内の文化程度が上がる他、大卒の生涯収入は高卒以下よりも1億円以上高いため、消費の拡大および住民税の増収が見込めます。	<p>区ではこれまでも、学力だけでなく健やかな体づくりなども含め、社会を生き抜く力を育てる教育を推進してきました。今後も、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るほか、文化・歴史・伝統を活かした教育を推進するなど、未来を担う子供を育む教育の推進に取り組んでまいります。</p> <p>(施策6 未来を担う子供を育む教育の推進)</p>

分類	項番	意見	区の方 考え方 (該当する施策)
第2章	5	<p>レコードやCDが無くなったのと同様に、図書も電子化されて無くなる傾向があります。従いまして、蔵書数を増やすことよりもむしろ蔵書は電子化を図り蔵書数を減らして図書館を中央図書館のみに集約し、そのかわり、当面は貸出や返却の窓口をすべての区の施設やコンビニまで拡げ、最終的には個人のスマホやタブレットで蔵書を読めるようにし、利用者の利便性を図ることを希望します。</p> <p>つまり、図書館の使い勝手を良くするよりも、ストレスなく本を読める環境を作りたいということです。</p>	<p>区ではこれまで、図書館資料を充実させるとともに、ICタグシステムや自動貸出機を導入するなど、利用者の利便性向上を図ってきました。</p> <p>新たな電子サービス導入について研究し、誰もが利用しやすい図書館環境の整備に取り組むなど、今後も図書館サービスの充実に努めてまいります。</p> <p>(施策9 生涯学習環境の整備)</p>
	6	<p>たとえば小学2年生の道徳では「分離礼」を教えています、「分離礼」を知らない、つまり正しいお辞儀の仕方を知らない大人が大勢います。</p> <p>このほか、鎌倉幕府の成立年や仁徳天皇陵の存在など、今の子供が教わっていることと、大人が教わっていたことが異なることが多々あります。そして、その結果、大人は、こどもからは「礼儀を知らない非常識な大人」「知識の足りない頭の悪い大人」と見られてしまいます。</p> <p>このギャップを埋めて、すべての人が共通の土台で思考できるように大人の再教育制度が必要と考えます。</p>	<p>国は時代の変化に応じて新たな知識や技能を身に付けることができる「学び続ける」社会の実現のため、生涯学習の重要性が一層高まっているとしており、区でもこれまでライフステージに合わせた様々な生涯学習の機会を提供してきました。</p> <p>今後も、多様化する学習ニーズに合わせた講座の実施や、生涯学習を行う上での様々な相談に対応するなど、区民の生涯学習を支援してまいります。</p> <p>(施策9 生涯学習環境の整備)</p>

分類	項番	意見	区の方 考え方 (該当する施策)
第2章	7	<p>任天堂のWiiが普及して個人宅でスポーツができるようになりましたから、23区で一番面積が少ない台東区で、新たにスポーツに親しむことのできる場の整備のためにまとまった土地を確保しなければならない理由が見つかりません。</p> <p>むしろ、Wiiを一步進めて、個人宅でスポーツをしているのに、あたかも大会場で集団で行っているような気持ちにさせるようなVRを開発し、運営していくほうが効率的で効果的と考えます。</p>	<p>平成29年度における区立スポーツ施設の年間利用者数は約65万人となっており、区ではこれまでも「たなかスポーツプラザ」の開設や、小中学校を活用した「スポーツひろば」を実施し、スポーツのできる場の充実や種目の拡大を図ってきました。</p> <p>区が実施した調査では、区民のスポーツに関するニーズが、以前に比べ多様化していることがわかっています。様々なライフスタイルの区民がスポーツをできるよう、多様化への対応を今後も検討してまいります。</p> <p>(施策11 スポーツができる場の充実)</p>
	8	<p>タバコについて、都が条例を制定しました。今後、飲食店などは禁煙が進んでいくと思いますが、路上での喫煙が今以上に増えてしまうのではないかと心配です。オリンピック開催までに区内を全面禁煙にするべきではないでしょうか。</p>	<p>平成30年に、望まない受動喫煙の防止を図ることを目的に、国が「健康増進法」を改正し、東京都が「東京都受動喫煙防止条例」を制定しました。</p> <p>区はこれまで、「おいしい空気おもてなし店」の登録事業を実施するなど受動喫煙防止対策を推進するほか、喫煙マナー向上のため、喫煙スポットの整備などを行ってきました。</p> <p>今後も、喫煙する人と喫煙しない人の双方が共存できるよう、受動喫煙対策を実施するほか、公衆喫煙所の整備や街頭キャンペーン活動などによる喫煙マナーの啓発に取り組んでまいります。</p> <p>(施策16 がん対策の推進) (施策54 環境配慮行動の促進)</p>

分類	項番	意見	区の方 考え方 (該当する施策)
第2章	9	<p>文化と産業を結びつけ、文化的活動をしている人が文化で生活をし、永続的に文化活動ができるような仕組みづくりをしてほしい。そのために、文化に触れられる機会の提供を、文化を普及したい人と触れたい人とのマッチングの場と捉え、師弟関係が出来上がると、師匠は稽古代で生活ができ、弟子は師匠が亡くなった後も文化を残し、普及させることができるというサイクルが完成できる。</p>	<p>区はこれまで、若手芸術家をはじめとする、文化を創造する人材の支援・育成を図るとともに、子供や高齢者、障害者など誰もが文化に親しむ環境づくりを進めてきました。</p> <p>いただいたご意見も参考にさせていただきながら、引き続き、文化を創造する人材の支援・育成に取り組み、文化振興を図ってまいります。</p> <p>(施策 29 文化を創造する人材の支援・育成) (施策 31 誰もが文化に親しむ環境づくり)</p>
	10	<p>お祭りや地域イベントも台東区の文化であることから、文化施設や文化事業という狭義の文化にとどまらせず、これらも掲載することで総合的な文化サイトとし、台東区内への誘客のためのツールとする。</p> <p>その結果、アクセス数、登録イベント件数ともに10倍増が期待できる。</p>	<p>たいとう文化マルシェは、台東区内の文化イベントや文化施設、展覧会レポートなどを紹介する文化芸術総合サイトです。ご意見の通り、地域のお祭りやイベントも台東区の大切な文化であると認識しており、たいとう文化マルシェにおいて情報を発信してまいります。</p> <p>引き続き、たいとう文化マルシェの登録イベント件数やアクセス件数の増加などを図り、台東区の文化の魅力を国内外に広く発信してまいります。</p> <p>(施策 30 文化情報の発信)</p>

分類	項番	意見	区の方 考え方 (該当する施策)
第2章	1 1	国は、これから新たな外国人労働者の受け入れを拡大していくとしている。区でも対応していくべきではないか。	<p>国の法改正の影響により、外国人労働者は今後、増加していくことが見込まれています。</p> <p>区では、産業を支える人材の確保・育成の観点から、外国人を含む多様な人材が活躍できるよう、対応を検討してまいります。</p> <p>(施策 33 産業を支える人材の確保・育成)</p>
	1 2	最近、外国人の観光客が増えていて、まちには民泊営業しているところも増えている。治安の悪化が心配なので、区も対応していくべきではないか。	<p>住宅宿泊事業法の施行を受けて、区においても、住宅宿泊事業の適正な運用が図られるよう、昨年6月に条例を施行しました。</p> <p>今後も事業者への監督・指導などを行い、宿泊者の安全安心の確保と区民の安全で快適な生活環境の維持に努めてまいります。</p> <p>(施策40 区民生活と調和する観光の推進)</p>
	1 3	<p>うぐいす谷駅周辺の整備はどの様にしていくか？長期ビジョンが見えない。駅前の再開発、区画整理、環境改善等多々の課題あり。</p> <p>又、尾久橋通り一言問通りの一帯の交通集中対策も併せ検討願いたい。</p>	<p>区は、まちづくりを重点的に行う必要がある地域において、その地域特性を踏まえたまちづくりを推進しています。</p> <p>現在、台東区の将来都市像とその実現に向けた大きな道筋を明確にするための「台東区都市計画マスタープラン」の策定を進めており、個別の地域のまちづくりについては引き続き検討してまいります。</p> <p>(施策 41 地域の特性を活かしたまちづくりの推進)</p>

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
第2章	14	<p>災害に遭った時に活かせるような技術を養えるようなスポーツ(たとえばキャンプなどボーイスカウトが行っているようなこと)については奨励し、被災時の犠牲者数を減らすことにつなげてほしいです。</p>	<p>区では、これまでも、防災訓練などを通して、被災時に必要な知識などの普及啓発を進めています。今後も、様々な機会を通して、区民一人ひとりの防災知識の習得や、災害に対する備えを充実させていきます。</p> <p>(施策47 家庭や地域における防災対策の推進)</p>
	15	<p>同じ23区の中野区で同性パートナーシップ制度が開始されるなど、近年、LGBTの受け入れが話題になっています。区は、これまでも色々な価値観を受け入れることで成長してきたまちであると思っています。</p> <p>LGBTの受け入れについても啓発を進めてほしいです。</p>	<p>性自認や性的志向の違いなどにかかわらず、誰もが互いに尊重される地域社会を形成することは重要です。</p> <p>区ではこれまでも、性の多様性だけでなく、男女平等をはじめとする様々な人権について啓発を進めてきました。今後も、区民が人権問題を正しく理解していけるよう、様々な機会を捉えて、普及啓発に取り組んでまいります。</p> <p>(施策56 人権の尊重)</p>
	16	<p>区に住む外国人も増えており、様々なトラブルが起きている。計画では在住外国人のことも書かれているが、もっと積極的に取り組んでいくべきではないか。</p>	<p>台東区に住む外国人は、近年では増加傾向となっており、今後も増加していくことが見込まれています。在住外国人は地域社会の担い手となりうる重要な一員です。区では、今後も引き続き、在住外国人が地域で安心して生活できるよう必要な支援を行っていくとともに、日本人と外国人の住民相互の理解促進を図るなど、多様な人々が尊重し合い、活躍できる地域社会の形成に向けて取り組んでまいります。</p> <p>(施策57 多文化共生の推進)</p>